

高知市地域アクションプランの進捗状況等について

H22. 1. 13

高知市地域本部

1 地域アクションプランの第3四半期までの実施状況（総括）

(1) 総評

観光分野や農業分野を中心に概ね実施計画どおりに進んできている。

今後は、動き出した農産物の加工事業化の推進や、観光分野におけるさらなる具体的な取り組みの追加・拡充、商工業分野の広がりのための企業ニーズの掘り起こし、中心市街地活性化の加速化の支援、また、事業を一過性のイベントに終わらせることなくビジネスに育っていくための継続的な支援といった新たな課題への対応も必要となっている。

地域アクションプランの項目名	補助金	アドバイザー
1 地域の基幹品目の振興（新高ナシ）	県・市	
2 ショウガの安定供給と消費拡大	県・市	
3 ユズを核とした中山間農業の活性化	総・国・市	
4 中山間地域の暮らしを支える集落営農の推進	県	
5 四方竹のブランド化による中山間地域の振興	県	
6 鏡川源流域での有機・無農薬ECO農業と薬草の里づくり	地・国	
7 「田舎レストラン」による地産地消の推進		ア
8 稲ホールクロップサイレージを核とした耕畜連携の推進と二期作文化の復活	総・国	
9 乳製品の開発による新しい酪農経営モデルの創出		ア
10 民有林における間伐の推進	県・国	
11 県産材の地域における需要拡大	県	
12 木質バイオマスの活用に向けての取組	国	
15 高知県漁協直販施設での鮮魚等の販売促進	総・県	
16 底曳網による漁獲物の利用及び消費の拡大	国・市	ア
18 こうち販路拡大チャレンジ事業の充実	市	
24 コンテンツビジネスの創出	国	
26 中心商店街でのアンテナショップの開設	県・国・市	
27 安心・安全・快適な商店街づくり	国・市	
31 映画を通じた「よさこい」発祥の地としてのアピールと観光客の誘致	県・市	
32 観光情報の集約化と情報発信力の強化	県・市	
33 「エンジン01オープンカレッジ in 高知」の開催を契機とした交流 人口の拡大	国・県 (負)・市	
34 温泉開発による観光地としての魅力の向上	県	
35 「龍馬伝」を契機とした観光の振興	総・市	
36 アユ群れる清流鏡川などの天然素材を活かした観光客の誘致	国	
37 食による観光の推進と地域物産との連携	国	

※ 補助金 : (総) 県総合補助金、(地) 県地域づくり補助金、(県) その他県単補助金等、

(国) 国庫補助金等、(市) 高知市補助金 (セ) 産振センター補助金等

アドバイザー : (ア) 産業振興アドバイザー、(工) 工技センターアドバイザー、(他) その他アドバイザー

(2) 具体的な動き

① 地域の重点的な取組

重点的に取り組む施策	取組状況(課題、結果、成果等)
地域の特色を活かした多様な農業の展開 (基幹品目の生産性及び品質の向上、中山間農業の活性化、有機・無農薬等ECO農業の推進)	<p>＜地域の基幹品目の振興（品目別総合戦略）＞</p> <p>生産については順調に推移し、加工品についても動きが出てきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショウガゼリー、新高ナシのリキュール、イチゴの加工向け出荷 <p>＜中山間農業の活性化＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユズ：国庫補助金及び総合補助金の導入によりJA高知市ユズ搾汁施設改修榨汁能力の向上 1.25 t→5 t ・こうち型集落営農 2集落で75ha 分のユズの苗木導入 ・新たな品目：ソラマメ、加工用わさびの試験栽培 <p>＜有機・無農薬等ECO農業の推進＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知市有機市民農園の開設、ホソバオケラの試験栽培
「森の工場」などによる間伐の面的な拡大 (事業体や担い手の育成、異業種の参入・連携の仕組みづくり)	<ul style="list-style-type: none"> ・森の工場の1団地新設 (847ha)
高知県漁協による直接販売の促進 (直販施設での鮮魚や水産加工品等の販売促進活動の展開)	<p>高知市本町地区及び横浜地区の直販市で販売促進に取り組んでいる。成長戦略における県漁協の流通販売強化事業と総合補助金でのPRや人材育成などソフト事業を支援。</p>
中心商店街での販売拠点づくり (アンテナショップの設置や「おかみさん市」の拡充)	<ul style="list-style-type: none"> ・アンテナショップ：中心商店街活性化モデル事業の採択を受ける。民間会社が22年1月の開業に向け、現在最終調整中。 ・おかみさん市：出店ルールを7月に新たに決定し、新規募集を行っている。参加者の広がりが課題。
工業分野における産業政策に関する情報の一元化 (生産管理、販路拡大、人材育成、若年者雇用など)	<p>県の成長戦略の一環として取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こうち販路拡大チャレンジ事業補助金の交付：上半期5企業、下半期7企業(予定) ・見本市への高知県ブース設置：関西機械要素技術展(大阪市)、メッセナゴヤ2009(名古屋市) ・高知県製造業ポータルサイトの発注：3月末完成予定
コンテンツ産業の育成 (潜在するコンテンツの発掘やビジネス化への仕組みづくり)	<ul style="list-style-type: none"> ・高知県コンテンツ産業推進会議の設置 ・高知まんが・コンテンツビジネス創出塾の開催 ・クリエイター実態調査の実施
広域的な体験型観光の仕組みづくり (広域ネットワーク化のための仕組みづくり、多様で効果的な観光情報の発信)	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺市との意見交換を実施。関係市町村における広域観光に対する積極的な意識の醸成が課題。そのためには成功事例を紹介することが欠かせない。
魅力ある観光戦略の展開 (食観光の推進、よさこい祭りの有効活用、「龍馬伝」を契機とした龍馬の新たな魅力づくり)	<ul style="list-style-type: none"> ・高知B級グルメ維新コンテストでグランプリが決定(丼部門:なるこ丼、めん部門:しらすラーメン)。今後は、PRと食としての定着が課題 ・よさこいをテーマとした映画の高知ロケに対する支援を行う。 ・ロケ地マップや衣装の展示場など次の具体的な展開を検討中 ・「龍馬の生まれたまち記念館」を中心としたまちあるきマップ(6コース)が完成。 ・休憩所や食べ歩きとのコラボの検討 ・高知市観光遊覧船の3隻目への支援

	新たな観光資源としての活用策を検討中
--	--------------------

② 上記以外で特に動きのあった取組

地域アクションプランの項目名	取組状況（課題、結果、成果等）
8 稲ホールクロップサイレージを核にした 耕畜連携の推進と二期作文化の復活	・二期作農家が作った稲を畜産農家が飼料として購入し、安心・安全の酪農製品の生産を目指す、耕畜連携の仕組みを確立するため、9月から飼料稲の生産に取り組んだ（水田 20ha）
9 乳製品の開発による新しい酪農経営モデ ルの創出	・酪農業の多角経営モデルとして、牧場で生産した生乳を使用して 発酵バター、お菓子、パンを製造販売する取り組みを進めている。 製造のための機械については総合補助金で導入（11月採択）
17 冷凍ドロメの販路拡大	・実証実行組織 春野冷凍ドロメ加工グループ 「どろめっこ」を 設立し、実証活動を開始（10/18 春野さんさん黒潮市への出店）
33 「エンジン01 オープンカレッジ in 高知」 の開催を契機とした交流人口の拡大	・来県した著名人ら約 120 人のうち 23 人が高知県観光特使に就任して いただき、これを契機にいかに多くの高知ファンを増やしていくかが課題。土佐のおきやくへの参加につなげるよう交渉中
34 温泉開発による観光地としての魅力の 向上	・温泉を核とした共同事業開発に関する基本調査・計画報告書について高知市に報告。今後具体的な内容について検討を進める。

2 地域アクションプランへの追加・修正（予定）項目等

(1) 地域アクションプランの追加検討項目（案）

資料4のとおり

(2) 地域アクションプランの修正項目

資料4のとおり

(3) その他

- ・平成 21 年 12 月 8 日現在、地域本部へ個人・団体あわせて 25 件の相談がっている。
- ・問い合わせのほとんどが、内容が具体化していないため、地域アクションプランの追加の検討は行っていない。
- ・地域本部に相談のあった水産加工食品製造販売会社の取り組みについて、高知市地域 A P16 番の項目の中で、来年度の計画に加えるよう検討している。
- ・中央卸売市場の活性化の取り組みについて支援策を検討中。
- ・日本みつばちの養蜂事業の取り組みについて支援策を検討中。

相談があった案件(抜粋)

団体名	分野
・個人 2 件	文旦の加工
・法人 2 件 個人 1 件	産直市の設置
・法人	シイラの加工
・法人	太陽光発電を活かした新製品の開発 ⇒企業研究会へ
・法人	観光パンフレットの増刷
・法人	キリンサイの商品開発⇒企業研究会へ
・法人	東京の企業との交流会⇒地産外商公社、産業振興センター、東京事務所へ